



シリーズ④

大山町家庭学習のすすめ!

名和中学校レポート!

家庭学習への位置づけ

名和中学校では、全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果から、家庭学習の時間が全国平均よりかなり少ないことがわかり、この課題解決のために3つの重点的な取り組みを行っています。

(1) 月別宿題予定表の配布

今年で4年目になりましたが、翌月の行事予定表に各学年の宿題を記入して配布しています。テスト前にまとめてワークブックをするのではなく、計画的に学習を進めることができるような生徒たちの育成をねらっています。また、家庭では、この予定表をもとに、生徒の家庭学習の様子を把握し、声かけなどの協力をしていたりすることもねらいとしています。

1年宿題提出日	2年宿題提出日	3年宿題提出日
英語ワークp40~43		数学プリントの 社会ドリルプリント
	社会ドリルプリント	図形第一冊(2014年10月)
国語ノート(品名たい)		国語 読書感想文とよみかき
英語p50~p51	英語ワークp80~81	社会ドリルプリント
社会ドリルプリント	社会ドリルプリント	図形第一冊(2014年10月)
		英語p42~p45

▶宿題予定表

【保護者の感想】

- ・中学になって生活リズムが変わり、毎日をこなすことでいっぱいだと思います。その中でこの取組をすることは、本人にとっても良いことだと思います。
- ・学習時間がテスト結果に出たかどうかは別として、自分が決めた目標を達成しようとする姿が見られて素晴らしいと思います。時間の量もさることながら、質を高め効率の良い方法を習得できれば、部活がある普段の生活にいかせると思います。

(2) 小・中連携によるPTA活動「目きら」キャンペーン

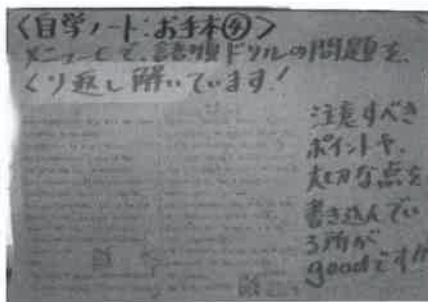
取組を始めて5年目になりますが、PTAと学校が協力し、「メディアと接する時間を見直し、家族とのふれあいや家庭学習の時間を増やす」など、生活習慣の見直しを図ることをねらいとしています。

小学校と実施の仕方に若干の違いはありますが、ほぼ同時期に実施することで、家族みんなが取り組めるように小・中で連携を図っています。

「学習開始時刻や起床時刻、就寝時刻などの設定、テレビやパソコン・携帯電話などメディアに接する時間やルール」を生徒自身が決めて取り組めます。この取組を進めることにより、小・中連携の成果が少しずつ現れているように感じています。

(3) 自主学習プリント・自学ノート

理科や英語は、自学ノートを使って家庭学習に取り組んでいます。毎朝指定された場所にノートを提出し、終わりの会で返却しています。自分でどのような学習内容に取り組むのか考え、計画的に家庭学習を行うことができますように指導しています。また、他の生徒の参考になるような自学ノートを手本として紹介しています。



▲自学ノートの手本を掲示

定期テストの前には、各階の廊下に置いたケースに、テスト勉強に使えるプリントを入れ、生徒が自主的に学習へ取り組むことができますようにしています。

【生徒の感想】

- ・家庭学習時刻の開始と、就寝時刻が目標通りにならない日があったので、これからは、目標を達成できるようにし、生活リズムをつけていきたいです。
- ・今回の「目きら」は、良い取り組みができたと思います。TV1時間やメディアルールを意識すると、こんなに成果が出るんだなと思いました。

名和中学校では、徐々に家庭学習の時間や宿題などの提出率が伸びてきています。今年度大山町が作成した「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習につながる授業づくりの研究に取り組むとともに、引き続き家庭の理解と協力を得ながら、生活習慣と学習の大切さについて生徒の意識を高め、自ら学ぶ力のさらなる向上をめざしていきたいと思えます。

